

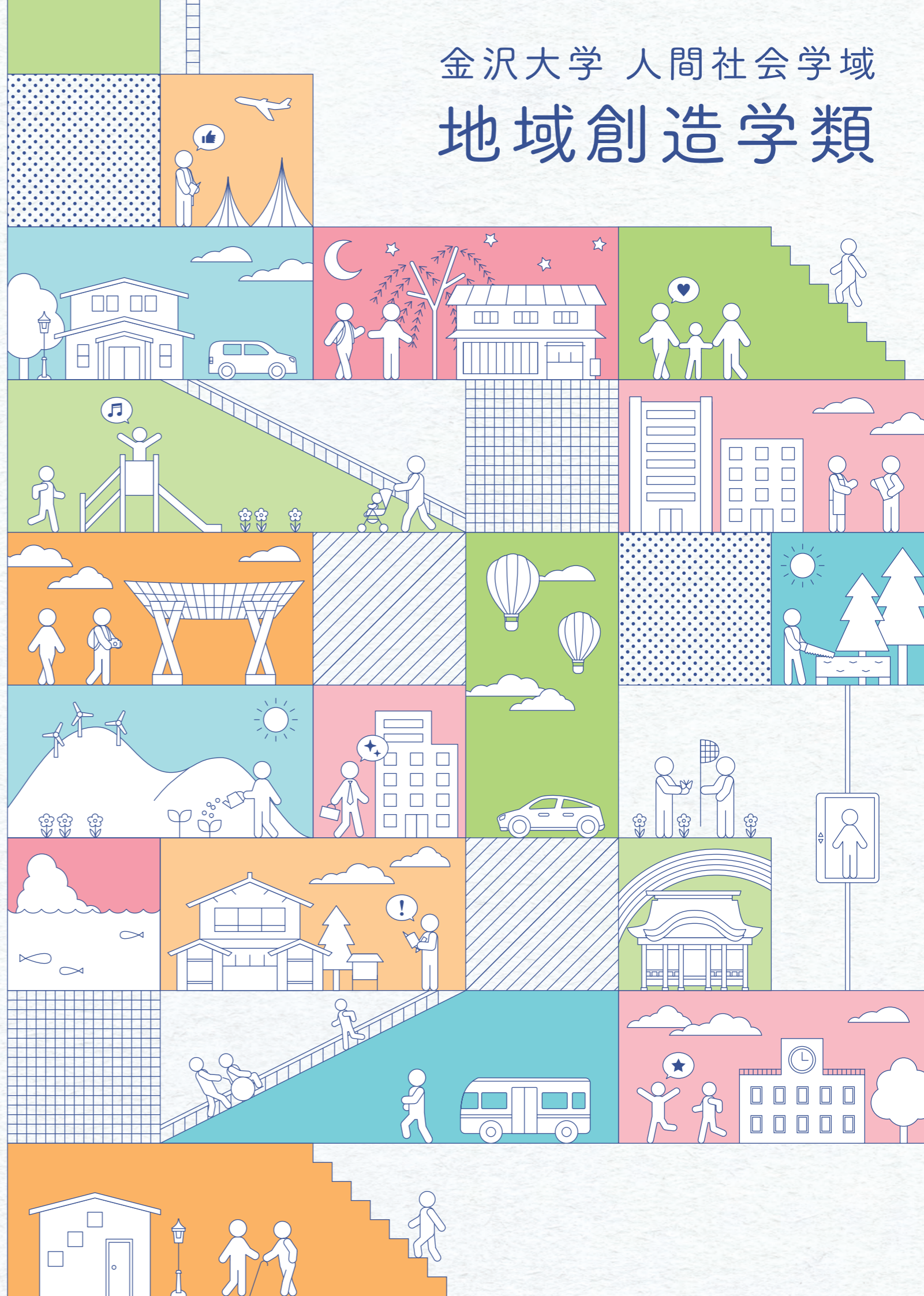


最新情報や現役学生・卒業生の声は  
Webにて随時更新中です。

<http://chisou.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



# 金沢大学 人間社会学域 地域創造学類



# 専門性と総合性をもった 地域のリーダーをめざそう

## Contents

- 04 地域創造学類について
- 06 プログラム制
- 08 カリキュラム
- 10 学生生活
- 12 卒業後の進路
- 14 活躍する卒業生
- 15 教員紹介



何が変わった？  
新しい地域創造学類の特徴

Point 1



### プログラム制で自由に主体的に学ぶ

従来のコース制から、現代的な課題と学生自身の将来像に重点を置いた2つの科目群を再編しました。それぞれの科目群から核となるプログラムを選択的に学修します。学生自身が主体的に学ぶ対象と自分の進路を考えながら取り組むカリキュラムです。

Point 2



### 地域のリーダーになる

自分の将来像を意識し、地域づくりのリーダーとしての素養の修得をめざします。公務員など政策立案に関わる進路を想定した「公共政策プログラム」と、企業や非営利団体、NPOなど民間の立場から地域と関わる進路を想定した「地域マネジメントプログラム」を設けています。自身が活躍をめざす場で必要とされる知識と手法を学ぶことができます。

Point 3



### 地域の現場を経験する

実習やインターンシップ等、フィールドとしての地域への実践的な関わりと、少人数教育による演習などきめ細かな学修支援が充実しています。地域課題に関する深い学びと現場での実践力を身につけます。

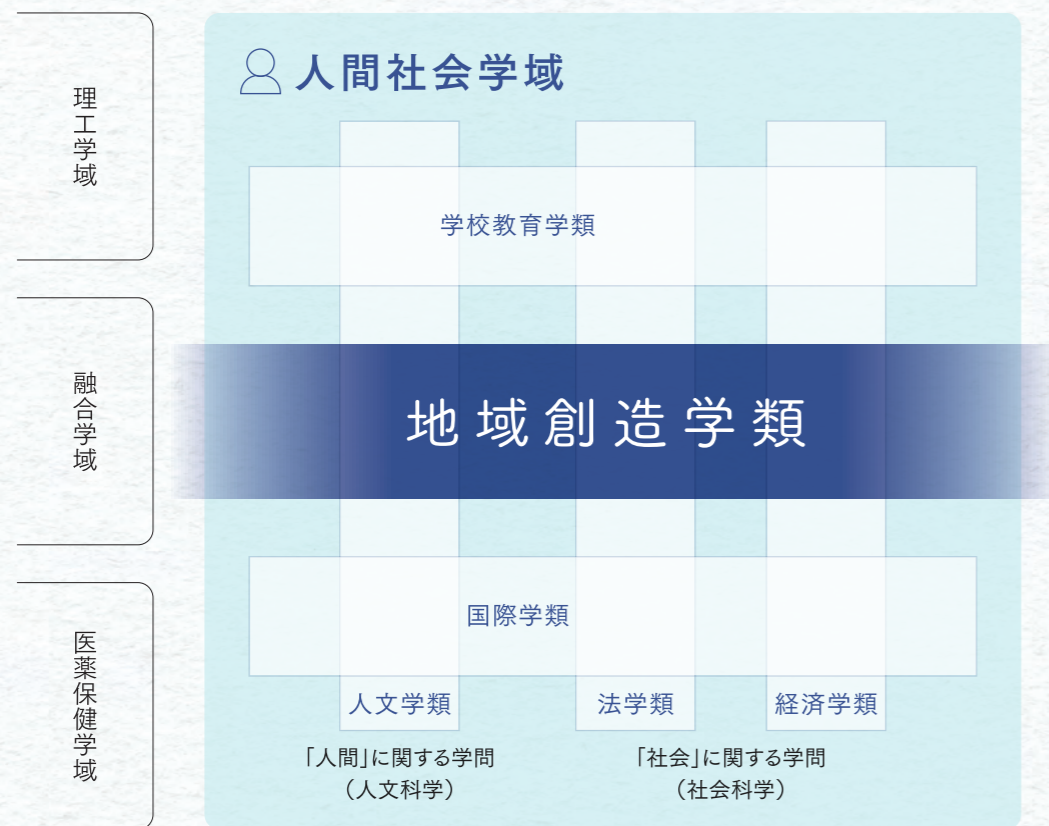


金沢大学  
人間社会学域  
地域創造学類長  
高橋 涼子

# 地域創造学類について

## 新たな「地域」社会の想像・創造を志向した独自の学としての「地域創造学」

法学や経済学、文学のように、伝統的な学問区分に従って、その一分野を中心に学ぶ場としては、金沢大学人間社会学域の場合、法学類や経済学類、人文学類などがあります。これに対して「地域創造学類」は特定の学問分野にこだわるのではなく、人間・社会に関わる多種多様な学問分野を横断的・学際的に学びながら、現代の様々な問題に総合的・応用的・実践的に取り組みます。



### 学類の理念・目標

地域創造学類は、地域におけるさまざまな課題について、複数の学問領域から専門的・総合的に研究する地域創造学を核としています。環境に配慮した持続可能な社会や、不安定で不確実な状況でもしなやかで折れない地域、多文化を柔軟に受け入れるグローバルな共生社会を築き、文化と福祉、健康の発展への貢献をめざします。すべての人の尊厳と人権が保障され、誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりに貢献する人材を養成します。

### 教育目標

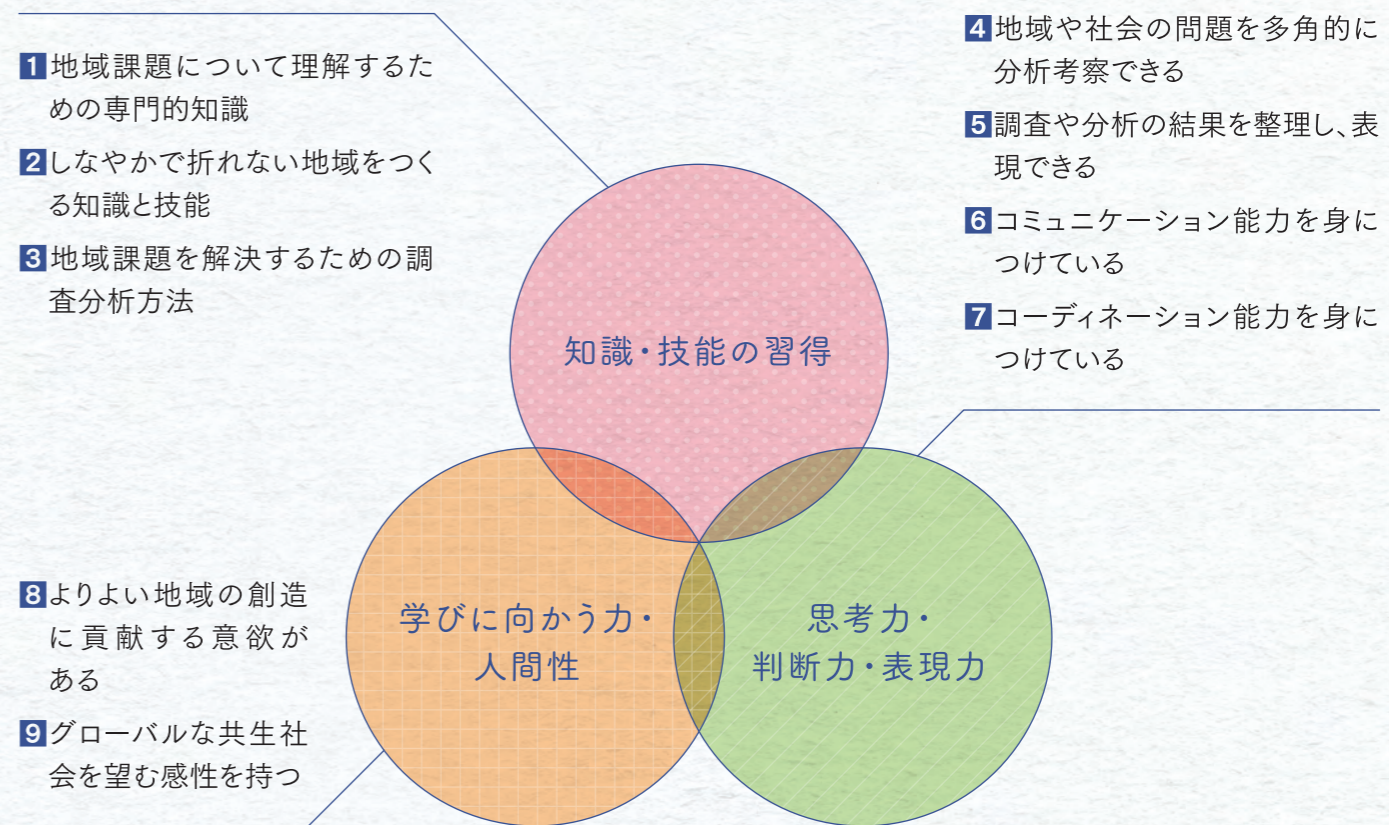
地域創造学類は、地域づくりのリーダーとして活躍できる能力を持った人材を養成します。地域の自然的・文化的資源、伝統、人材、資金、社会関係などを専門的に分析把握します。自治を活かした地域固有のスタイルで住民の健康・福祉・環境・産業・文化・観光を発展させ、新たな価値創出によって地域を再生し活性化します。質の高い個性ある地域を計画・設計・政策立案する能力を育成します。

## 私たちがめざすのは、しなやかで折れない地域、持続可能な社会、そしてグローバルな共生社会

これからの日本のあり方を考えるとき、キーワードとなるのが「地域創造力」です。自然や文化・伝統など地域が持つ資源を活かしながら、地域が直面するさまざまな課題に対応すること。地域に新たな価値を見出して地域再生を実現すること。そうした地域づくりのリーダーを育成するのが、地域創造学類です。地域創造学は、地域に暮らす一人ひとりの幸福を探究する最先端の研究分野。本学類は、学問領域を越えた研究と、地域への実践的な関わりを重視したユニークなプログラムを充実させています。

## 社会に出てから糧となる4年間で修得する9つの力

地域創造学類の教育理念・目標に基づき、以下の学習成果を上げた学生に対し、学士の学位を授与します。



## 地域づくりに関心がある人を求めています

地域創造学類は、環境に配慮した持続可能な社会、時代のニーズに対応できるしなやかで折れない地域、多文化を受け入れるグローバルな共生社会をめざし、地域づくりのリーダーとして活躍できる能力を持った人材を育成します。これに基づき、次のような人材を求めています。

### 〈求める人材〉

- 大学での地域創造学の学習に必要な基礎的学力を有している人
- 地域創造力を修得するために、本を読み、文章を書き、地域に出かけ、能動的に学修する努力を惜しまない人
- 誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりとグローバルな共生社会の発展に貢献したい人

# プログラム制

Point / 1 プログラム制で自由に主体的に学ぶ

地域創造学は地域に暮らす一人ひとりが幸福を探求する最先端の研究分野です。それぞれの地域が持っている自然的・社会的な資源を活かし、すべての人の尊厳と人権が保障され、住んでも訪れても安心して魅力的な地域づくりに貢献する人材を育成します。

地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得する3つのプログラムがあります。自分の関心に合わせて1つのプログラムを核として学びながら、他のプログラムも横断的に学修し、総合性や統合性を担保します。

## 地域課題科目群 (課題解決型)



### 人と自然の共生プログラム

座学、ワークショップ、野外実習などを通じて、地域課題を総合的に分析し、解決する力を身につけます。衣食住・文化などは、自然の恵みと厳しさの上に成り立っています。当プログラムでは、その「当たり前」を大切にします。また、「今晚の夕食」から「人類の生き残り」(例:気候変動)まで、時間的・空間的な広がりのある議論を大切にします。

人と自然の共生を念頭に、地域課題を解決する

#### 教育内容 /

地域課題の分析に必要な「人と自然」に関する知識や手法を幅広く身につけます(自然環境基礎論、生態系サービス基礎論、など)

目の前の「人と自然」を分析し、地域課題の解決策を考えるための力を身につけます(防災・減災と地理学、資源活用と環境共生、など)

### 地域協働プログラム

地域の多層的構造と社会の構成要素を理解し、地域の特性を活かした産業と自治体の政策・計画を学び、住民の生活と生業を維持発展させる方策を学修します。地域の人々の暮らしを良くするために「ご近所づきあい」から「政府の総合政策」まで、あらゆる次元のまちづくりと地域づくりを様々な視点から学修します。

地域を多層的に捉え協働のまちづくりを学ぶ

#### 教育内容 /

都市計画や地理学の視点から、都市と地方の町並みや公共交通などを学びます(地域居住論、交通地理学、など)

地域のにぎわいと住民の元気を創出する方策を学びます(イベント経営論、スポーツ文化論、など)



### 共生社会プログラム

少子高齢化とグローバル化が進む社会背景とその実情、地域社会にもたらされる豊かさや課題を、グローバルな視野とローカルな視点の両面から理解します。様々な社会問題解決に挑戦し、多様なニーズをもつ住民の健康と幸福をめざす柔軟な発想と行動力をもつ人材を育成します。

多様な人々があるのまに暮らせる社会をつくる

#### 教育内容 /

地域住民の健康づくりや医療・福祉の政策について学びます(高齢者福祉論、障害学、など)

多様な人々とのコミュニケーションや地域の国際化を見すえた異文化理解を学びます(対人コミュニケーション演習、人類学的異文化理解、など)

1年次 共通教育科目、学域GS科目、専門基礎科目を中心に履修します。

2年次 2つの科目群から核となるプログラムを1つずつ選択します。

3年次 専門的な演習・実習科目の履修で選択した地域課題の学修を深化させるとともに、他プログラムへと横断的に学びを広げます。

4年次 地域創造力の総合性・統合性を担保する地域創造学特別演習などを通じて地域課題に向き合い、自身の将来像を見据えた卒業研究を実施します。

Point / 2 地域のリーダーになる

## 地域創造科目群 (職能開発型)



自分の将来像を意識し、地域づくりのリーダーとしての素養を習得する2つのプログラムがあります。自分の進路に合わせて1つのプログラムを核として学びながら、他のプログラムも横断的に学修します。

### 公共政策プログラム

地域課題に公共の立場で関わるための総合性と専門性を身につけます。政策立案に必要な幅広い素養・視点、そして、地域政策や地方自治に関する専門知識を修得するため、政策や行政などに関わる科目を中心に配置します。地域住民との連携を大切にし、公務員や行政職員としての責任と意欲をもって、政策立案に携わる人材を養成します。

公務員として政策立案に関わる進路をめざす人に

#### 教育内容 /

さまざまな地域課題に取り組む政策の知識と手法について学びます(政策学基礎、地域計画論、など)

公共性・平等性・安全性といった公共政策の基本理念を学びます(公共哲学、リスクコミュニケーション、など)



### 地域マネジメントプログラム

地域の特性やニーズを適切に把握し、産業・雇用を創出します。地域空間を理解する科目と地場産業の発展や地域内雇用の創出に関わる科目を中心に配置し、ほど良い発展と安心感が共存するバランスのとれた地域環境の創出に資する学知を提供します。NPO・公企業・ベンチャーなど民間の立場から自由な発想をもとに地域をよりよくできる人材を養成します。

民間の立場から地域をクリエイトする将来を描く人に

#### 教育内容 /

地域の共通の利益につながる様々なビジネスとその創出のプロセスを学びます(ソーシャル・ビジネス論、イベント経営論、など)

過疎化が進む農村の将来や、変化の著しい都市の住環境などについて戦略的に考察します(農村戦略論、住環境計画、など)

## 実習とインターンシップ

Point / 3 地域の現場を経験する

実習やインターンシップ等、フィールドとしての地域への実践的な関わりを重視する、他に類を見ないユニークな科目が充実しています。少人数教育によるきめ細かな学修支援により、現場での実践力が確実に身に付きます。

専門的な演習・実習科目の履修を通じて学んだ地域課題の学修を深化させるとともに、他プログラムへと横断的に学びを広げます。

地域創造力の総合性を担保する地域創造学特別演習などを通じて、地域の課題に向き合い、自身の将来像を見据えた卒業研究を実施します。

# カリキュラム

## 幅広い知識と現場での実践力を身につける 4年間の学び

地域課題を科学的に分析し検討するためには、次の「3つの理解」が必要です。

- 1 地域構造に関わる理解
- 2 地域に働くメカニズム・ダイナミズムに関わる理解
- 3 地域政策・方針に関わる理解

プログラム制を構成する地域課題科目群と地域創造科目群を通じ、4年間でこれらをバランスよく学びます。また演習や論文指導でのきめ細かな少人数教育を基本に、現場での調査・体験実習を重視し、実践力の修得と「3つの理解」の獲得を促します。加えて、インターンシップを積極的に支援し、コミュニケーションやコーディネーションといった「協働の力」を育成します。

## カリキュラムイメージ

科目群	単位	1年次				2年次				3年次				4年次			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
卒業演習・卒業研究	10																
地域創造学特別演習	1																
地域課題P専門演習＋ 専門実習＋P共同演習	4+ 2+1																
地域創造科目群 (ディシプリン/職能P)	12+6							★					☆			☆	
地域課題科目群(課題P)	12+6							★					☆				
地域創造プロジェクト講義A～ 地域創造プロジェクト演習A～ 地域創造プロジェクト実習A～ 地域創造インターンシップI・II 異文化体験(海外)I	選択																
地域創造学基礎演習II	2																
地域創造学基礎演習IA～C	2																
学類英語演習	1																
地域創造学I～III	1																
学域GS言語科目	2																
学域GS科目	8																
自由選択科目	16																
共通教育GS科目ほか	33																
共通教育導入科目	3																

プログラム  
★P選択時期  
☆変更可能時期

専門基礎

\* 金沢大学はクォーター制(4学期)を採用しています

## 授業紹介



### 地域概論

[担当教員：佐川 哲也]

#### 地域創造を学ぶ「構え」をつくる

大学・地域での学び方を理解する導入科目です。当学類を志望した理由や将来の希望をワークショップ形式で語り合い、学習意欲を高めます。また、地域で活躍するゲストスピーカーの話聞いて、働き方や地域とのつながり方について理解します。さらに、地域創造学類のカリキュラムポリシーを理解し、自在に学ぶための学修計画を作成します。



### 地域創造インターンシップI・II

#### まちづくりの現場を体験しよう

行政(市役所)、地元の企業、地域づくりの民間団体などで、一定期間、まちづくりの実践を行います。地域のために活動している人々とふれあうことで、まちづくりの魅力や、地域課題に対する住民の取り組みを理解し、地域創造の実際を体験的に学びます。



### 地域計画論

[担当教員：田中 健作]

#### 地域の計画の理論と実際を学ぶ

地域計画は地域の社会経済活動をコントロールする枠組みです。過度な開発を抑制し、人々と自然とが共存した持続可能で暮らしやすい地域をつくるために、地域を構成する様々な要素の配置や、地域の構成員が合意し協力し達成していきける地域計画を学ぶために、授業では地域計画の理論、および世界各地における計画の事例を学際的に学びます。



### 農村戦略論

[担当教員：林 直樹]

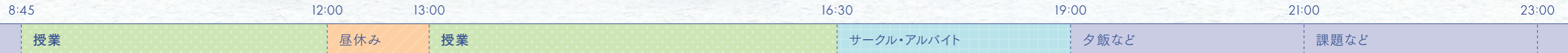
#### 「問題解決」力を身につける

ゴールの見えない複雑な地域課題の解決に資する「教育ゲーム」。「農村戦略論」では、農村や環境に関する講義のあと、実際にボード(カード)ゲームをつくり、学生どうして試遊・評価を行います。ここでは、基礎知識以外に、「物事を広く見渡しメカニズムを整理する力」「解決の突破口となる重要な要素を見つける力」を身につけることができます。

# 学生生活

金沢大学での学生生活を、1日、1週間のおおよその流れで紹介いたします。キャンパス内での施設や活動から、また大学が位置する金沢市での暮らしから、金沢大学での学生生活をイメージしてください！

## とある学生の1日の流れ



## 🕒 時間割



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前		社会保障論					友だちと 金沢観光🌸
	自然環境基礎論	地域居住論	高齢者福祉論		地域創造学		
昼				友だちと ランチ♪		サークル	
午後	地域計画論	課題	韓国語		地方政府論		
		ゼミ	社会学				
夕方					課題		
夜	アルバイト	サークル	サークル	アルバイト	動画見る	アルバイト	

## 🏠 充実の施設



### 図書館

学域ごとに図書館が分かれていて様々なジャンルの資料に触れることができます! 図書館内には学習支援してくれるスペースがあり、レポートに困ったときは頼れます。



### ほんわかふえ

図書館の前にあるカフェスペースで、メニューにはコーヒーやサンドウィッチがあります。ほんわかできます。



### 食堂

主菜や副菜をメニューの中から選び栄養ある食事ができます。スペースが区切られているので1人からでも気軽に利用できます。



### 購買

食べ物だけではなく、文具や書籍も置いてあります。ちょっとした買い物に便利な施設です。水曜日はアイス割引の日!!!



### 大学会館・サークル棟

ジャズサークルの活動の場所です! 他にもいろいろなサークルが活動していて、楽しい雰囲気♪24時間利用できます。

## 🎵 サークル



ジャズサークルでサクソフーンをしています♪高校では吹奏楽部だったけど、違ったジャンルでの演奏ができてとても新鮮です!



地域創造学類の公認サークルである『つづみ』で活動しています。石川県の魅力を発信し、地域活性化のためのフリーペーパーを作成しています!!

## 🏠 アルバイト



大学受験までの勉強の経験を活かして塾でバイトをしている学生も多くいます。高校までお世話になった塾の先生みたいになれるように頑張っています。



金沢の町の居酒屋でバイトをしています。まかないがおいしくて幸せです♡

## 🏞️ 金沢での暮らし

### 🍷 美味しい食材

石川県には野菜や魚など、新鮮で美味しいご当地食材が豊富。また、近江町市場で食材を仕入れたり、香林坊・片町の飲食街で食事を楽しんだりできます。



### ❄️ 美しい雪景色

金沢に数多くある観光名所。兼六園などは冬に雪景色となり、より一層美しいものとなります。四季折々の趣を感じてみては。



### 🚌 交通の利便性

市内には多くのバスが通っており、金沢駅には新幹線も開通。帰省や旅行も計画しやすく、行動の幅が広がります。多くの学生は大学に近い郊外に住んでいますが、街中にも15分程度で行くことができます。

### 🎨 文化のまち、金沢

ホールや道中での、身近に広がる音楽活動。有名になった金沢21世紀美術館など、美術館や博物館も多く存在し、気軽に芸術に触れることができます。歴史ある街として、伝統文化も盛んです。

# 卒業後の進路

## 地域創造学類の強み

### コミュニケーション能力の向上

ゼミや実習はもとより、講義等でも少人数でのアクティブ・ラーニングが徹底していて、対話の機会がふんだんにあり、コミュニケーション能力が向上します。

### 行動力の向上

フィールドワークやインターンシップ、実習など、現地で学ぶ授業により、地域の人々と関わり、自らアクションを起こしたりする行動力が身につきます。

### 制度・政策への理解

制度や政策を学び、それらについて考える多くの授業が用意されているため、制度や政策への理解が深まり、仕事に活かせる政策形成能力が向上します。

### 想像力の向上

様々な学問分野から構成される学際性を特徴としているため、多角的に物事を視ることができる、社会への想像力が培われます。

## キャリアサポート

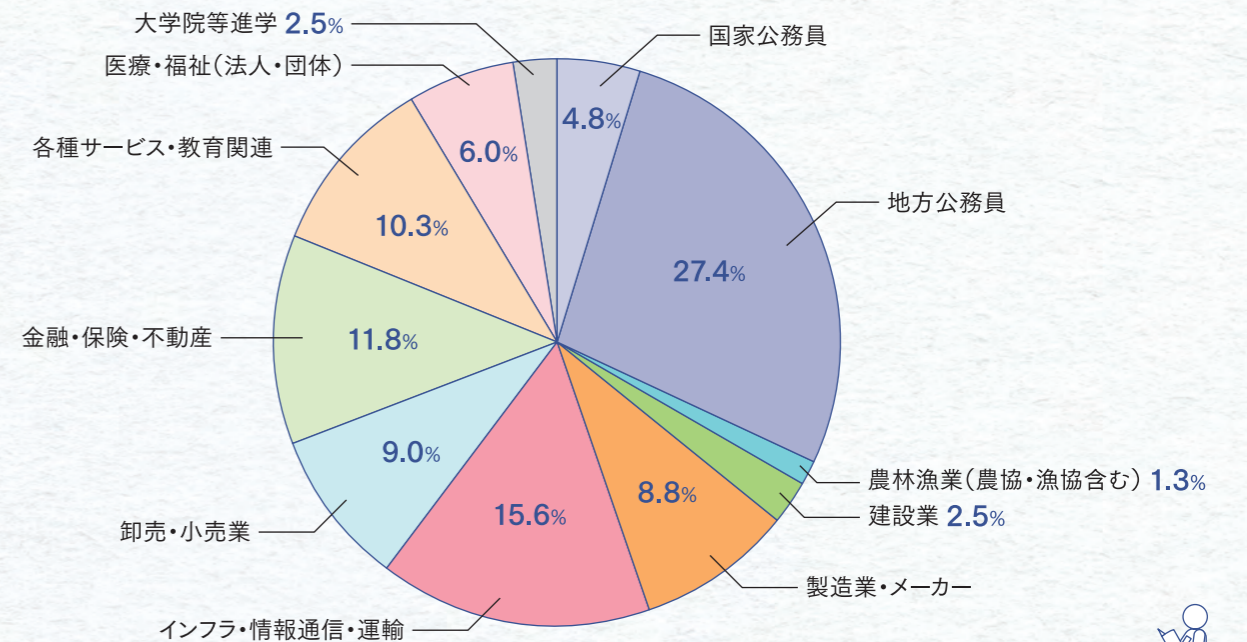
- キャリア形成セミナーを開催しています。OB・OGの話は将来の自身のキャリアの具体的なイメージづくりの参考となります。
- 公務員試験対策に力を入れており、毎年大きな実績を上げています。
- 民間企業やNPOなど、様々な分野に活躍の場があることも地域創造学類の特色です。

# 就職状況一覧

地域創造学類の5年間の卒業生データによると、公務員が3割を超えていることが大きな特徴です。それ以外では、情報通信・運輸・小売業や製造業・メーカー、金融・保険・不動産など幅広い業種に及んでいます。

## 金沢大学 地域創造学類 就職状況

令和6年2月7日現在  
(平成30年から令和4年の5年間)



分類	人数	就職先・進路
国家公務員	19	厚生労働省(広島労働局・静岡労働局・石川労働局)、国土交通省北陸地方整備局、財務省国税庁(金沢国税局・大阪国税局)、財務省大阪税関、財務省北陸財務局、総務省、総務省中部管区行政評価局、農林水産省北陸農政局、農林水産省林野庁中部森林管理局、法務省出入国在留管理庁名古屋出入国在留管理局、防衛省航空自衛隊
地方公務員	109	県庁(愛知・愛媛・岩手・岐阜・富山・福井・富山・長野・徳島・栃木・和歌山・新潟)、東京都庁、市役所(山梨市・高崎市・酒田市・甲賀市・長浜市・秋田市・燕市・上越市・柏崎市・浜松市・かほく市・加賀市・金沢市・能美市・白山市・野々市・武蔵野市・高岡市・黒部市・砺波市・富山市・坂井市・勝山市・大野市・福井市・芦屋市・豊岡市)、東京都台東区役所、町役場(垂井町・内灘町)、警視庁、愛知県警察
農林漁業(農協・漁協含む)	5	黒澤農場、志賀農業協同組合、石川県漁業協同組合、全国農業協同組合連合会、全国農業協同組合連合会富山県本部
建設業	10	きんでん、セイダイ、ひまわりほーむ、横河ブリッジホールディングス、竹中工務店、加賀建設、鹿島建設、北陸電話工事
製造業・メーカー	35	キュービー、丸井織物、高桑美術印刷、福島印刷、三菱ケミカル、住友理工、辰日化学、東亜合成、栗本鐵工所、東洋製罐グループホールディングス、日本軽金属、松浦機械製作所、コマツ産機、中村留精密工業、日精エー・エス・ビー機械、日本精機、金沢村田製作所、村田製作所、富山村田製作所、福井村田製作所、久保誠電気興業、ツインバード、住友電装、NSKワーナー、TOTO、YKK
インフラ・情報通信・運輸	62	四国電力、中国電力、東北電力、北海道電力、北陸電力、NST新潟総合テレビ、NTTドコモ、データ北陸、テレビ新潟放送網、河北新報社、交通新聞社、北國新聞社、ソフトバンク、伊藤忠テクノソリューションズ、共同通信社、山形放送、西日本電信電話、北陸放送、あいの風とやま鉄道、ジェイアールバス東北、西日本旅客鉄道、静岡鉄道、全日本空輸、東日本旅客鉄道、北陸鉄道
卸売・小売業	36	キャンマーケティングジャパン、ジョンソン・エンド・ジョンソン、デサント、ユニフォームネクスト、リコージャパン、因幡電機産業、丸文通商、三谷商事、小浜海産物、双日、東邦ゴム工業、北菱電興、かあてんや、クスのアオキ、ジェイアールサービスネット金沢、大創産業、アルビス、イオン東北、サントリービバレッジサービス、石川日産自動車販売、北陸スバル自動車
金融・保険・不動産	47	静岡銀行、日本政策金融公庫、八十二銀行、百五銀行、富山第一銀行、北陸銀行、北國銀行、みずほ証券、蒲郡信用金庫、岐阜信用金庫、金沢信用金庫、石川県信用保証協会、大和証券、長野信用金庫、三井住友海上火災保険、第一生命保険、東京海上日動火災保険、日本生命保険相互会社、名鉄保険サービス、明治安田生命保険相互会社、三菱地所レジデンス、東京都住宅供給公社
各種サービス・教育関連	41	マイナビEdge、国土開発センター、M&N辰巳、エイベックス、新家税務会計、税理士法人日本綜研、税理士法人北陸会計、鳥津ホールディングス、星野リゾート・マネジメント、JTB、ZEN PLACE、広島東洋カープ、国立大学法人(京都大学・金沢大学・東北大学・徳島大学)、富山育英センター
医療・福祉(法人・団体)	24	七徳会、金沢大学附属病院、市立砺波総合病院、恵寿総合病院、やわたメディカルセンター、長野赤十字病院、ツクイ、ニチケアパレス、学研ココファン、メインストリーム協会、松原愛育会、土浦市社会福祉協議会、南陽園、佛子園、ヴィスト、パナソニックエイジフリー、むそう、金沢市社会福祉協議会、大阪市社会福祉協議会、大阪府社会福祉協議会、日本年金機構
大学院等進学	10	金沢大学大学院、筑波大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学
計	398	

# 活躍する卒業生



## まちづくりを実践する

2018年卒業  
(株)日本海コンサルタント 社会事業本部 | 武内 沙月



〈就職先について〉 非常にふんわりとした思いですが、「まちづくりに関わる仕事がしたい」と思っていました。今の会社を選んだ理由は、自分が考えていたまちづくりのイメージに対して、その分野に強い会社で、色々な経験が積めそうだと感じたからです。現在は、就職活動でイメージしていた仕事よりも凄く幅広い分野に関わっています。今の仕事では、学生時代で経験したような地元の方とのワークショップを行っているほか、学生時代に全く触れてこなかった道路整備事業や公共交通等の分野にも関わっています。

〈在学中にしたこと〉 私のいる会社は理系出身の方がほとんどで、知識や研究の経験という面では及ばないと感じることは多々あります。ですが、学生時代はとにかく「いろんな人の話を聞きたい、繋がりを作りたい」という思いがあったので、人との出会いを大切にすることや繋がりを保つことを意識しながら、イベントに行ってみたり、民間企業にインターンしてみたりして、時間を使っていたと思います。そのおかげか、学生時代の出会いを経て、仕事現場での再会が何度もありまして、あの時「とりあえず行ってみよう」精神で動いていて良かったなと思いました。

## 公共の福祉に貢献する

2014年卒業  
新潟県庁 | 田村 恵里



〈就職先について〉 新潟県庁で一般行政職員として働いて9年目です。現在は教育委員会の総務課に所属し、学校教職員の給与支払や予算要求等の業務を担当しています。その前は小千谷市役所企画政策課に2年間派遣いただき、総合計画策定に携わりました。大学在学時に金沢市の生活保護世帯の子どもの学習支援ボランティアに参加する機会があり、その活動がきっかけで行政の仕事への関心が高まりました。また、行政職員は様々な分野の部署への異動があり、幅広い業務に携わることができる点も魅力に感じられたため、特に広範な業務を扱う県を志望しました。

〈在学中にしたこと〉 大学生活では、色々なことに挑戦すること、好奇心を持って楽しむことを大切にしていました。初めの頃は吹奏楽団の活動に熱中し、次第に専門課程や就職に向けた勉強に重きを置き過ぎました。地域創造学類には多様な授業があり、福祉サービスや対人援助などの科目を履修しました。対人援助の演習では実践的なコミュニケーションを学びましたが、例えば「傾聴」などは、仕事上でも役立っていると感じることがあります。学生生活でも学びにおいても、様々な機会や出会いを前向きに楽しんだことが、自分の成長につながったように思います。

## 研究を深める

2014年卒業  
東北大学 災害科学国際研究所 助教 | 原 裕太



〈就職先について〉 私は地理学、農学、環境科学分野の研究者です。自然環境と住民生活が両立する社会のあり方や、社会変容により生じる課題の改善について、主にアジアの現場で探求しています。学類卒業後は、さらに研究を深めたいと京都大学大学院に進学しました。世界中から院生が集う環境に身を置き、留学も経験しました。幸い国や民間財団から研究に集中できるご支援も頂け、博士号を取得しました。その後、東京大学教養学部の教員を経て、現在は東北大学災害科学国際研究所で、国連、行政、地域の方々と連携した課題解決型の研究に取り組んでいます。

〈在学中にしたこと〉 学問の面白さに出会い、学際的で柔軟な見方と“Act locally”の意義を学んだ4年間でした。とくに3年次の演習は泊りがけのフィールドワークで、初めて自分で科学調査を設計・実施する機会でした。トラブルも相次ぎましたが、現地足を運び考える意味を知りました。研究者としての原点です。また、地域創造の立場で世界の環境・社会問題の解決に携わりたく、国際学類を副専攻したり、理工学域の講義・実験に参加したり、コンソーシアム制度を利用し夜間に中国語を学んだりもしました。どれも金沢大学だから実現できたことで、今も大きな財産です。

# 教員紹介



氏名	授業担当	研究分野	研究分野の説明
青木 賢人	● 自然環境基礎論	● 自然地理学 ● 防災	自然を理解し、正しく畏れ、上手に利用し、適正に付き合う。自然も人も持続可能な地域を考える研究をしています。
藤谷 かおる	● マーケティング・マネジメント論 ● イベント経営論	● 地域マーケティング ● 文化・スポーツイベント	「地域マーケティング」の視点から、魅力的な文化・スポーツイベントのマネジメントについて検討しています。
林 紀代美	● 資源活用と環境共生 ● 流通・消費と環境共生	● 人文地理学 ● 流通・消費・食文化 ● 防災	地理学から資源活用や環境共生に目を向け、流通・消費や食文化の変容の研究、防災教育支援をしています。
林 直樹	● 農村計画論 ● 農村戦略論	● 農村計画学 ● 撤退の農村計画 ● 生態系サービス	「自然の恵みと厳しさ」「人間の都合」の両方を考える「むらづくり」について研究しています。
一方井 祐子	● リスクコミュニケーション ● 地域社会のリスクガバナンス	● 科学コミュニケーション論 ● 科学技術社会論	科学技術が私たちの生活や社会にどのような影響を与えているのかを研究しています。
森山 治	● 介護政策論	● 社会福祉学	超高齢社会をむかえた我が国の福祉問題について、介護政策を視点に誰でもが住みやすい社会について研究しています。
村上 慎司	● 社会保障論 ● 高齢者福祉論	● 社会保障の規範理論	私たちの生き方の幅を豊かにできる社会保障制度の背後にある理念は、どうあるべきなのかを研究しています。
丹羽 孝仁	● 地域調査マネジメント ● 地域分析理論	● 経済地理学 ● 人口地理学 ● GIS(地理情報システム)	地域の暮らし、働き方、さらには生き方を理解するために、地域の産業の構造や人々のライフコースを研究しています。
奥田 恒	● 政策学基礎論 ● 地方政府論	● 政治理論 ● 公共政策	利害・価値観が異なる集団が争う「政治」という現象と、その状況下で公共的問題に対処するとはどのようなことかを考えています。
大野 智彦	● 環境政策論 ● 河川政策論	● 環境政策論	地域の河川に関する公共政策について、誰がどのように政策を決めているのか(決めるべきなのか)について研究しています。
小澤 裕香	● 社会政策論 ● 雇用政策論	● 社会政策学	格差・貧困の構造的な理解と、その解決策としての最低生活保障や就労支援のあり方について研究しています。
佐川 哲也	● スポーツ政策論	● スポーツ社会学 ● 生涯スポーツ	誰もが生涯にわたってスポーツに親しむ社会を形成する条件と方法について研究しています。
坂本 貴啓	● 河川環境論 ● 非営利組織運営論	● 河川環境工学 ● 市民工学 ● 河川地理学	「河川」という自然と人工物の両方の特性を持つ公共空間をどのように計画・利活用・管理していくと、暮らしやすいまちづくりを実現できるかという視点から研究しています。
白石 英巨	● 地域居住論 ● 住環境計画	● 建築計画 ● 都市計画 ● 交通計画	皆さんが生活をする地域の空間(建物・町並み・交通など)をどのように評価・計画すれば良いのかを研究しています。
高橋 涼子	● アドボカシー論	● 医療社会学 ● 障害学 ● ジェンダー学	社会的に不利な立場におかれている人々の権利を守り、共に生きていく社会のあり方を研究しています。
田村 うらら	● 伝統文化変容論	● 人類学 ● 文化の動態	フィールドワークをもとに、現代におけるローカルな文化の変容・継承過程を探究しています。
田邊 浩	● 現代社会論 ● 社会システム論	● 公共社会学 ● 社会学理論	現に私たちがいま生きている社会の仕組みと、異なった人びとがともに生きることができる社会の条件について研究しています。
田中 健作	● 交通地理学 ● 地域計画論	● 交通地理学 ● 農村地理学	農村や交通現象のあり方と成り立ちを、自然、社会、経済、政策、政治、生活様式等と関連づけて考えます。
寺沢 なお子	● 食環境学 ● 栄養生理学	● 食生活学 ● 栄養学 ● 健康科学	地域の人々が健康に暮らすための「栄養」、身近であるが課題も多い「食環境」について研究しています。